

2017年5月12日

苫小牧バイオマス発電所の営業運転を開始

株式会社 イワクラ

地元の株式会社イワクラ（本社：苫小牧市、社長：岡本泰雄）が、共同出資している苫小牧バイオマス発電株式会社（本社：苫小牧市、社長：塚田洋平）を事業者とした木質バイオマス発電所が、2017年4月28日より営業運転を開始しました。

この発電所は、三井物産株式会社、住友林業株式会社、北海道ガス株式会社との4社共同出資会社です。



本事業は株式会社イワクラに隣接する苫小牧市晴海町に発電規模約 5.9MW の発電設備を建設、再生可能エネルギー固定価格買取制度（※1）を利用し発電事業を行うものです。燃料となる木質チップは、北海道における林地の未使用木材（※2）を 100%利用し、電力は北海道内に供給される地産地消型のエネルギー事業となります。

株式会社イワクラは今年で創業 104 周年を迎えましたが、新たなる森林資源の有効活用と未利用木材再資源化という創業以来の理念に基づき、再生可能エネルギーとしての当発電事業に参画してきました。今後も株式会社イワクラの生業である林業の発展と森林資源の再生に繋がる事業に積極的に参加し、循環型社会形成に貢献して参ります。

※1：再生可能エネルギー固定価格買取制度：再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）を用いて発電された電気を一定価格で電気事業者が買い取ることを義務付けた制度のこと。

※2：林地の未利用木材：間伐材や林地残材などの未利用資源のこと。

※苫小牧バイオマス発電株式会社 概要

所在地	北海道苫小牧市晴海町 40 番 4
資本金	499 百万円
出資比率	三井物産株式会社 40% 株式会社イワクラ 20% 住友林業株式会社 20% 北海道ガス株式会社 20%
事業内容	木質バイオマス発電
使用燃料	林地の未利用木材 年間約 6 万トン
主要設備	流動層ボイラー、蒸気タービン発電機
発電規模	発電端出力：約 5.9MW
年間発電量	約 40 百万 kWh（一般家庭約 10,000 世帯分の年間使用電力量に相当）